

保護者の皆様からの質問・ご意見	回答
子どもたちに直接影響はあるのか。 先生方の異動はあるのか。	民間の保育所となるため、保育士をはじめ園の職員は変わります。
民間に委託後、今現在、園で勤務されている先生方は全て白鳩園、小鳩園に行かれるのでしょうか… 子供も保護者も先生方とコミュニケーションが深まって来ている中、先生方がガラッと変わるのが不安です。	正規職員は、小鳩園、白鳩園に勤務するだけでなく、計画にあるとおり、鳥栖市職員として市全体のための新たな子育て支援の分野（「保育環境の確保と向上」、「インクルーシブ保育の推進」、「すべての子育て家庭への支援」）に取り組んでいきます。 正規職員ではない先生方については、本人の意向を踏まえ、移管後も引き続き継続して働いていただけるよう協議していきます。
今までよくしてくれてる先生たちはどうなるのか	子どもたちや保護者への影響や負担を減らし、円滑な引継ぎができるように、移管前少なくとも3か月以上は、移管先事業者の保育士等と共同保育を行っていきます。
再編後在園時は卒園まで現在の園での保育が可能なのか、それとも他園への転園が必要になるのか。 もし、転園が必要な際は、その調整は市や園でやってもらえるのか。	民間移管はしますが、保育園としてはなりません。 在園児は保育の必要性を満たす限り、移管後も引き続き卒園まで利用できます。 ただし、移管後の施設が2歳児までの受け入れになるなど、保育年齢などによる利用制限が出てくる場合は、その他の園を利用できるようにするなど、市で調整を行い、在園児に不利にならないようにします。
ちゃんと次の場所に子どもが入れるかが心配	
やっと今年入園出来たので現在の園が無くなるのは困ります。	
民営化するといっても、次が決まるのかや、決まらなかった場合どうなるのが不安。下野は老朽化という点があるので…	民間移管はしますが、保育園としてはなりません。 在園児は保育の必要性を満たす限り、移管後も引き続き卒園まで利用できます。 ただし、移管後の施設が2歳児までの受け入れになるなど、保育年齢などによる利用制限が出てくる場合は、その他の園を利用できるようにするなど、市で調整を行い、在園児に不利にならないようにします。 万が一、民間移管先が決まらない場合も、市の責務の下、在園児の保育の確保は行います。
民間へ移管した場合の保育方針や施設運営が、市立保育所である現在と比較してどのように変更されるのか	現時点では、保育方針や施設運営、行事などがどのように変わるのかは未定ですが、移管先事業者の決定後は、保護者の意見が反映できるように、市、移管先事業者、保護者代表者等による協議を行いながら移管を進めます。 また、公立保育所、民間保育所とも、同様に国が定める保育指針に基づき保育を行っており、認可保育所として、県の監査も行われています。民間移管にあたっては、子どもたちや保護者の負担を減らせるよう、公立保育所の保育士とともに少なくとも3か月以上の共同保育を行い、「質が保たれない」ということはないようにしていきます。
今まで年長で行われていた行事などは全てありますか？	
先生方ががらりと変わることで、今までの保育の質が保たれなくなるのではないかと いうこと。	

保護者の皆様からの質問・ご意見	回答
民営化後もこれまで通りの保育料やサービスが維持されるのでしょうか？ 民営化によるメリット、デメリットはなんですか？ デメリットがある場合、市はどうカバーしていく予定ですか？	保育料は市が保護者の所得に応じて決定しているため、現在と民間移管後での違いはありません。ただし、実費については、提供される保育サービス（付加部分）等によって変わる場合があります。 メリットは、「公立」ではできなかった民間ならではの特色のある保育や子育て支援が期待できること、また、そのことによって、保育所が地域ニーズに応じた施設となっていくことも期待できます。 もう一つのメリットとして、公立保育所が再編されることで、鳥栖市職員としての保育士に余裕ができ、鳥栖市の保育全体のための新たな子育て支援の分野（「保育環境の確保と向上」、「インクルーシブ保育の推進」、「すべての子育て家庭への支援」）に取り組める人材が確保できることがあげられます。 民間移管にあたっては、移管先事業者の決定後、サービスの維持といった保護者の意見が反映できるように、市、移管先事業者、保護者代表者等による協議を行いながら移管を進め、デメリットや子ども・保護者の負担が少なくなるようにしていきます。 また、保育士等の職員が変わることによる影響を減らすためにも、移管前少なくとも3か月以上は、移管先事業者の保育士等と共同保育を行っていきます。 このほか、民間移管に伴い、移管後の施設が2歳児までの受け入れになるなど、保育年齢などによる利用制限が出てくる場合は、その他の園を利用できるようにするなど、市で調整を行い、在園児に不利にならないようにします。
今後民間保育に変わるのであれば、核家族化や共働き世帯が増加しているため、病児保育や災害時の保育も充実させてほしいです。	民間移管後については、移管先事業者の決定後、可能な限り保護者の意見が反映できるよう、市、移管先事業者、保護者代表者等による協議を行いながら移管を進めます。 また、鳥栖市としても、計画にあるように、「保育環境の確保と向上」「インクルーシブ保育の推進」「すべての子育て家庭への支援」また、「緊急時の保育の継続」に取り組んでいく人材が確保できるため、これらの子育て支援施策の充実に取り組んでいきます。
鳥栖市の保育状況は、他の自治体に比べて課題が沢山あると思われます。再編されることで、保育を必要とする鳥栖市民に良い結果となるよう、計画遂行されてください。	ご意見ありがとうございます。 保育を必要とする市民の皆さんにとって良い結果となるよう、努めてまいります。